

INSTINCT

感性のドラム & パーカッショニスト 堀越 彰 率いる “INSTINCT”

シルク・ドゥ・ソレイユ出身のクラウンパフォーマー フィリップ・エマール

ロックスピリットギターの白土庸介 フレンチピアニストのフレデリック・ヴィエノ

4人で創るサウンドは詩的でドラマチックな世界

愛と魅惑のロックショーをお届けします



白土庸介
Yosuke Shirato
[Guitar]



堀越 彰
Akira Horikoshi
[Drums & Per]



フィリップ・エマール
Philippe Aymard
[Vo & Performance]



フレデリック・ヴィエノ
Frederic Viennot
[Piano & Key]

2016.5.29. Sunday

Open 17:00 / Start 18:00

会場 南青山 MANDALA

港区南青山 3-2-2 MR ビル

料金 4,200円 (1drink 付) 学生 2,700円 (1drink 付)

ご予約 / お問い合わせ 南青山 MANDALA 03-5474-0411 <http://www.mandala.gr.jp/aoyama.html>

Office Play Ground info-horikoshi@mx1.ttcn.ne.jp <http://www1.ttcn.ne.jp/play-ground/>



堀越 彰 Akira Horikoshi [Drums & Percussion]

東京都生まれ。海老沢一博氏、村上“ボンタ”秀一氏に師事。日舞家の父の影響から、日本の伝統音楽を敬愛する。1990年、山下洋輔ニュートリオでデビュー。伊藤多喜雄、夏木マリ、館形比呂一、ババタラフマラ、チェンミン、藤井郷子等と共演、海外公演に多数参加する。ジャズドラムを基軸にしながらも、邦楽や民俗音楽など古今東西の要素を自由に組み合わせ、空間演出とアジア人としての表現探求にテーマを持ったプロジェクトに着手。ピアノ深町純、バイオリン渡辺 剛と組んだ“3人にして無限大のオーケストラ”「The WILL」(CD「INFINITY ORCHESTRA」)、薩摩琵琶や尺八、笛、能管など日本の伝統楽器と組んだ「東方異聞」(CD「A Strange Story from the Far East」)、音楽と美術の境界を超越したパフォーマンス「SOLO-ist」(国内公演の他 2002年マカオ公演 2008年キューバ公演)、尺八奏者 小濱明人とNYで活動をスタートさせた「LOTUS POSITION」、ラテン音楽の躍動感とクラシック音楽のダイナミズム、スバニッシュボイスを融合させたNew Project「INSTINCT」などを主催。都内に2ヶ所のドラムスクールを持ち、キッズクラスのレッスンも行う。

<http://www1.ttcn.ne.jp/play-ground/>

フィリップ・エマール Phillippe Aymard [Clown Dancer & Performer]

1968年7月1日、フランス生まれ。7歳の時に生まれて初めての映画「不思議の国のアリス」を観る。12歳まで毎週ダンススクールに通い、高校を卒業する頃にはラテンダンスを専門にした。彼の先生の一人はパリの「Ecole Jacques Lecoq」に行くように勧めた。1990年にシルク・ドゥ・ソレイユを親に行き、運命が決定的になった。観客の中にいた彼のひざにクラウンがおどけて座ったときに彼の顔にあたったスポットライトは運命の光のようだった。2001~2008: Cirque du Soleil, DRALION シルク・ドゥ・ソレイユ「ドラリオン」でクラウンをアメリカ、メキシコ、カナダ、ヨーロッパ、そして日本で演じる。2009: Compagnie Oposito, Caméra Café, Les Alama's Givrés, 2009~2010: Cirque du Soleil, Dralion, シルク・ドゥ・ソレイユ「ドラリオン」でクラウンをニュージーランド、メキシコで演じる。2010~2011: Cirque du Soleil, ZED シルク・ドゥ・ソレイユ「ZED」でクラウンを演じる。フィリップは時折パリに戻り、ニューヨークのビッグアップルサーカスの一部であるキャロラインシモンズの作ったクラウンケアユニットの活動で、パリやその周辺で病院で病氣と闘っている子どもへの慰問を行っている。

白土庸介 Yousuke Shirato [Guitar]

小学校時代にエレクトーンを始める。高校時代にドラム、ベース、ギターを独学で始める。1991年に駒澤大学経済学部経済学科を卒業。約一年間のサラリーマン生活を経て、1992年にミュージックカレッジ MESAR HAUS(ギター科)に入学。元クリエイションの竹田和夫氏に師事。後にバックバンドとして同氏と共演。1995年~渡辺 剛(元 G-CLEFF)のサポート。1996年 Mesar Haus レーベルより、自己バンド“The Great Dragonfly”のCDをリリース。1998~2000年 椎名へきるのバンドメンバーとして、全国ツアー及びレコーディングを行う。ブルースハーブを独学で始める。2000年~谷本貴義、貝山幸子 サポート。音楽教室等でギター & ベース講師を始める。2004年 貝山幸子フランス公演参加。Danny Summer 香港公演参加。2006年 竹田和夫 来日公演にソロギタリストとして参加。2007~2008年 Blue Man Group ラスベガス公演 及び東京公演に出演。

<http://blog.livedoor.jp/sj200/>

フレデリック・ヴィエノ Frederic Viennot [Piano & Keyboard]

1973年、フランスのグレイ市で生まれる。リヨン国立高等音楽院ジャズピアノ科の金メダル受賞後、ブルゴーニュジャズコンクールで優勝。エレクトロニック・ミュージック・グループ「Monsieur Charles」のメンバーとして、録音やライブ活動を行う傍ら、ジャズシーンでは、フランスのジャズアーティストの François Théberge, Lionel Belmondo, Tony Pagano, Eric Prost などと共演する。2004年より来日し、ライブ演奏、イベント出演、テレビコマーシャル録音、教育活動など、様々なミュージック・シーンで活動。クレモンティニス、Catia Werneck, アイス・サランユ、青木カレン、コモブチキイチロウ、MALTA, Patrick Nugier など、ジャズ、シャンソン、ボサノヴァ、エレクトロニカなど、幅広い分野のアーティストと様々な演奏活動を行っている。2005年のNHK教育テレビ番組「フランス語会話」ではレギュラーおよび音楽コーナー担当で出演。翌年の同番組では、オープニングとエンディング音楽も手掛けた。